

令和5年度第2回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和5年11月13日(月) 午後3時～午後4時30分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階第1会議室
- 3 出席委員 小倉委員、栢野委員、小林委員、東海林委員、田村委員、中塚委員、濱西委員、藤田委員、山本委員
- 4 出席職員 (市民協働局)大谷次長
(女性が輝くまちづくり推進課)長谷川課長、篠原担当課長、繁定課長補佐、大熊主査、森本主事
- 5 傍聴者 なし
- 6 次 第
(開会)
市民協働局次長挨拶
(1) 議事
①「第5次さんかくプラン」年次報告(令和5年度)(案)について(資料1)
(2) その他
- 7 配付資料
資料1 「第5次さんかくプラン」年次報告書(令和5年度)(案)(事前送付)

8 会議の状況
(1) 議事

議事①

「第5次さんかくプラン」年次報告(令和5年度)(案)について

○説明内容

資料1について事務局から説明

○意見等

- p.7「目標② 保育所・幼稚園・認定こども園において男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発に取り組んだ園の割合」
 - ・ 保育、教育、啓発、どれかひとつでもいいということか。3つともということか。
 - 保育・教育も聞いているし、保護者への啓発も聞いている。どちらもやりましたというところを取り組んだとみなしている。
 - ・ 両方聞いているなら“保育・教育や保護者への啓発”ではなく“保育・教育および保護者への啓発”の方が良い。
- p.7「目標⑤ 市職員の性の多様性の理解のための研修の受講者数」
 - ・ 評価に、今後もより多くの市職員が積極的に参加できるように書いているが、実際この目標数値は少なからずクリアしておかなければいけない。行政がここを達成していないと示しがつかない。「今後もより多くの」というよりかもう少し具体的な方法を書いておいてはどうか。
 - ・ 研修の形式は。Zoom、オンデマンドなど、色々な形態で研修ができるようになっている。そういった工夫をした上で、320人に到達しなかったのか。もしくは従来通りの研修方法で到達しなかったのかということは考えていくべき。

- p.10「目標⑥ 『男は仕事、女は家庭』という考え方に否定的な人の割合」
 - ・何年かに一度調査をしているが、5年前にその年だった人が5年後を見ても下がっているのか。年代ごとにデータはあるのか。下ってきているのであれば啓発はできていると思う。
 - 岡山市の市民意識調査報告書からになるので、そのような情報の取り方が可能かどうか確認する。
- p.12「目標⑧ 市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数」
 - ・出前講座73回は、先生が足りないからこの数字になったのか、それとも希望校が少ないから目標達成ができなかったのか。
 - 希望するところが80回に達していなかったと聞いている。
- p.13「目標⑨ 女性のための生活や就労を考える講座の参加者数」
 - ・63ページも再就職とあるが違いは。内容を変えて新たにやるのか。
 - 63ページの女性の再就職支援セミナーはR4年度だとパソコンやファイナンシャルプランニング講座に継続して出席した後に、就労の支援をしている。目標⑨は講座を行って生活や就労を考えるというもの。税や社会保障、労基法などを取り上げ、基本的な知識を身につける。
 - ・パソコン講座に人が集まるのであれば同じようなものを増やしてもいいのではないか。目的があるならそれをすると人が集まるのかもしれない。
 - ・評価の書き方は目標値を下回っているという表現より、「参加者はいなかった。より多くの人に関心を持ってもらえるように講座を企画し、子育て中の女性でも参加しやすいよう、開催方法についても工夫する必要がある」という表現にした方がよい。
- p.14「目標⑩ 女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数」
 - ・評価の中の「順調に」という言葉は違和感がある。不要。
 - 「順調に」という言葉を落とす。
- p.15「目標⑪ 市の実施するDV・デートDV・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数」
 - ・昨年度と今年度、中学校に授業に行かせていただいた。広く伝えたいということであれば枠を増やしていただきたい。目標値毎年500人というのも、マンモス校だと3学年やるとすぐに目標クリアになる。こうやって資料で見ると目標達成しているが、クラスの少ない学校にも行き届くようにして欲しい。
 - 毎年5月に中学校の校長会で、こういった事業をしていますというPRをさせていただいている。全学校に配布しているので、ご存じないということではないと思う。申込についてはお受けできるように広げていきたい。
 - ・5月にPRをしてその年にやれるのか。もしくは翌年度に向けて準備をするのか。校長先生たちが変わっても計画はきちっと進んでいくように少し工夫ができないか。おそらく教育委員会との協議だと思うが。
 - ・学校現場にいた経験から言うと、教育課程編成表をちょうど11月12月1月ぐらいに立てている。来年度のことは前年度の人間が立てる。来年度に入ってから内容を考えるっていうのは非常に難しい。
 - 校長会は、教育委員会の方にもなるべく早く参加するのが良いということで打診をしている。おそらく声がかかっている学校については、前の年から要望をと思ってくださっている。どのようにしたら、計画に入れていただけるかというところについては、教育委員会に相談する。
 - ・デートDVのパフレット以前は配っていたと思うが今もあるのか。
 - 中学3年生に毎年配っている。
 - ・岡山市内の養護の先生から問い合わせがあり、「岡山市ではこんなのをしているよ」と伝えても知らないですと言われる。校長先生だけではなく人権の担当の先生や養護の先生にも、伝わるようにして欲しい。
- p.16～ 「基本目標7 ワーク・ライフ・バランスの推進」
 - ・目標を達成できていない事業が多い。18ページの評価は、今後の目標に対する具

体策にはなっていない。

→岡山商工会議所に後援していただいている事業もある。そういったところから企業の方に広く知っていただいてご参加いただけるようにしたい。

- 都道府県ごとにジェンダー平等の達成度を公表しているサイトがある。岡山県は経済面が非常に低い。教育は良い。経済面は下から数えた方が早い状況になっているので、あと数年力を入れて頑張りたい。

■p.69 「農業委員会活動への女性の参画」

- 岡山県は農業関係で女性が少ないことが指摘されていた。実績が書かれていないが。

→農業委員会委員のうち、女性委員が2人。農地利用最適化推進委員が女性員が4人いらっしやるということ。

- 増えているのか減っているのか。“研修等への積極的な参加を募り、女性の知識・資質向上に努めた”と書いているが、どれくらい参加されたのか。実績が分かるような書き方を。
- 委員は全体で何人いるのか。何人中女性2人で、何人中女性4人なのか。また、研修会等への参加を募りとあるが、誰が参加をするのか。次回教えて欲しい。

■その他

- 岡山での教員による性犯罪が増えていることに対して、何かが必要。それが基本目標6DVや性暴力の防止、被害者支援に当てはまると思う。
- 一番は教育者の管理職に教育が必要。世界的に相通じるが、若い世代は分かっているが、年齢が上がれば上がるほど意識が薄い。どの組織においても管理職の理解というのが一番大事。
- 46ページに学校教職員を対象とした研修があるが、義務化するぐらいしっかりやってもらいたい。

- 岡山駅前などで強烈的なホストの勧誘がある。条例ができて犯罪になっているが、かなり巧妙化している。SNSをまず聞いて、パブリックじゃないところでやる。県警も条例改正から5年になるので、動いてもらわないといけないということで今取り組んでいる。

(2) その他

次回(第3回)会議について

- 第3回会議を2月に開催予定。日程調整は改めてお願いする。